

介護過程 I

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 介護福祉士養成の科目の学びを統合して、介護過程の意義・目的・目標を情報収集からアセスメントをし、介護計画を立案する力量を身につける。
2. 介護過程の概要と構成要素を把握して介護過程の理解を深め、情報収集してアセスメントできるように学び、生活支援の目標設定から介護計画策定までの一連のプロセスの理解を深める。
3. 介護過程の一連の流れを理解し生活支援の介護計画を立てる力を身につける。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容
1	介護過程とは何かを知り、その概要と構成要素を理解する : 馬場
2	介護場面における生活上の課題から解決プロセスにおける考え方を知る : 馬場
3	生活上の課題から自立生活に向けた展開プロセスにつながることを理解する : 馬場
4	生活上の課題とその解決過程の基本視点を獲得する（事例をもとに検討する） : 馬場
5	介護過程の意義、目的と生活支援の関係性を知る : 馬場
6	生活支援における介護過程の必要性を理解する : 馬場
7	情報収集の意義と方法について、具体的場面から必要な知識と技術を考える : 馬場
8	アセスメントの目的を理解する : 吉岡
9	アセスメントから介護計画につながる全体像を理解する : 吉岡
10	生活支援の課題解決に向けた情報のとらえ方を知る : 吉岡
11	情報収集の方法と分類を理解する : 吉岡
12	情報収集の実際と分類を実践する（事例をもとに検討する） : 吉岡
13	情報の解釈・関連づけ・統合化の意味と方法を理解する : 吉岡
14	介護計画に向けたアセスメントの実践をする〈演習〉 : 吉岡
15	アセスメントから生活支援の目標設定方法を理解する : 吉岡

【履修上の注意事項】

事前学習として、予定単元に該当するテキスト部分を読んでくること。
 事後学習として、講義中のノートをまとめなおし、課題に取り組むこと。
 事前・事後学習に要する時間 計90分程度

【評価方法】

筆記試験: 80% 課題提出: 10% 授業時の積極性: 10%
 課題については、コメントを入れて返却する。

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護過程』中央法規 最新版

【参考文献】

講義中適宜提示する。